

事務局報告にかかる議事概要

1 事務局報告の概要

(1) 懲戒免職処分に関する不服申立てに対する人事委員会裁決について（非公開案件）

教職員課長が、県教育委員会が平成23年度に行った懲戒免職処分に関する人事委員会への不服申立てについて、処分を承認する裁決があったことについて報告した。

本件は非公開案件であるため、議事概要は別途作成。

(2) 教育委員会制度改革の動向について

(3) 平成25年第5回岐阜県議会定例会における審議結果について

(4) 平成25年第5回岐阜県議会教育警察委員会の概要について

教育総務課長が、教育委員会制度の見直しに関する動向として、12月13日の中央教育審議会の答申について報告した。また、平成25年第5回岐阜県議会定例会における審議結果の内容、県議会教育警察委員会における質疑の概要について報告した。

(委員からの主な意見)

- ・駒田議員の質問はどのような内容だったか。

(教育長から補足説明)

質問は、第2次教育ビジョンの中に清流の国づくりを盛り込んでほしい、という趣旨である。この時点では、各議員にはビジョンの素案をお見せしていなかったので質問につながったようであるが、素案にはしっかりと入れてある。加茂農林高校の環境の取組について発表してもらったが、環境教育的な動きは県内の学校でかなり力を入れてやっているところがあって、そのようなコンセプトは岐阜県教育の中で生かされているし、今後も生かされていくと思う。打ち出し方を工夫する余地はあると思う。

(委員からの主な意見)

- ・教育委員会制度の見直しについて、連合会の理事会に出席した際にも、従来のB案も答申に残っており、まだどうなるかわからないというような説明であった。

(5) 平成25年度岐阜県における全国レベルの表彰について（平成25年11月分）

教育総務課長が、岐阜県内の児童生徒等が受けた全国レベルの表彰について報告した。

(特に意見なし)

(6) 全国学力・学習状況調査に関する実施要領変更に伴う対応について

学校支援課長が、全国学力・学習状況調査の実施要領が変更され、市町村教育委員会それぞれの判断で、個々の学校名を明らかにした調査結果の公表を行うことが可能になったことについて、県教育委員会の対応方針について説明を行った。

(特に意見なし)

ホームページ公開

(7) 地図を活用した学習の充実に向けた方策について

学校支援課長が、地図を活用した学習の充実に向けた方策案について説明を行い、議論を行った。

(委員からの主な意見)

- ・欧米人が見ている世界地図は、日本人が見ているものとは全く違う。彼らが見ている世界地図は大西洋が真ん中にあり、日本は極東の東の端である。
- ・たとえばロシアはずっと北なので、彼らは少しでも南に下りたくて仕方がない。そういう切実感は、今の日本人はあまり感じていない。
- ・相手の人がこちらをどう見ているか、それに対して日本はどうしなくてはいけないか、ということを考えなくてはならない。
- ・多面的な見方から、土地の形と文化的な背景、歴史、そういうものをトータルで教えなければいけないと思う。
- ・一番良いのは、地球儀だと思う。南北をひっくり返すこともできて、どこからも見るができる。
- ・世界は日本をどう見ているか、アメリカから見た日本、アジアから見た日本というような地図を生徒が見るチャンスがあったら面白いと思う。
- ・地図を貼るにしても、なぜそうしなくてはいけないのかをはっきりさせる必要がある。社会がグローバル化しており、地球の中の日本であるので、やはり良いのは地球儀だと思う。
- ・単に地図を貼るだけでなく、地図から何を学び、何を見出すか、ということ併せて提示しないと意味がないのではないか。
- ・領土をはっきりさせるという意味では、国別に領土を着色し、明確にした方が良いのではないか。
- ・たとえば読書週間というものがあるが、そのような感じで工夫して、地図週間のような面白い取り組みを考えてみてはどうか。

(教育長から補足説明)

日本地図とは少し離れるが、岐阜県の小学校レベルでは地図教育はかなり盛んに行われていて、県図書館では地図作品展を行っているし、岐阜県の子が国土交通省の地図展でも文部科学大臣賞を受賞している。岐阜県では地図を活用した教育の積み重ねがあり、それを伸ばしていくことは考えていく必要があると思う。足元のわが町からだんだん広がっていくということと、世界から見るとということ、両方面から認識を深めていくことは大事なことだと思う。

(学校支援課長から説明)

御指摘のあった、領土の問題について、単に地図という側面だけでなく、歴史的、経済的、社会的、文化的など様々な側面からどう取り扱うかということが重要であるということについては、中期的な課題として進めていきたいと考えている。また、日本地図、世界地図でも、どういう地図があるとよいか、ということについても多様な御意見をいただいた。御意見を踏まえると、当面の取組みとしては、どんな地図が生徒たちの興味を引くか、世界に目を開くか、ということも踏まえて多様な地図を用意して、それを各学校に対して教育の充実のために使うことを促していく、具体的な活用は各学校でしっかり検討していただく、という方向性になろうかと思う。

(8) ぎふスポーツ推進計画(案)の中間報告について

スポーツ健康課長が、ぎふスポーツ推進計画(案)について、中間報告を行った。

(委員からの意見)

- ・5本の柱のうち、3つめの「地域スポーツの推進」と5つめの「スポーツを通じた多様な施策の推進」は内容に重複があるように思うがどうか。

(スポーツ健康課長から補足説明)

ホームページ公開

「地域スポーツの推進」は子どもからお年寄りまで、総合型地域スポーツクラブなど実際にスポーツをやる方のスポーツの推進であって、「スポーツを通じた多様な施策の推進」は、イベントなどを見る人、支える人も含めて、スポーツを活用して地域の活性化につなげていくということで違いがあると考えている。

(9) 防災教育フォーラムについて

スポーツ健康課長が、平成26年1月31日に実施予定の岐阜県防災教育フォーラムについて報告した。

(特に意見なし)

(10) 平成30年度全国高等学校総合体育大会の開催について

スポーツ健康課長が、平成30年度に東海ブロックで開催される全国高等学校総合体育大会の開催種目等について報告した。

(特に意見なし)

(11) 平成25年度教育委員行事予定について

教育総務課長が、平成25年度の教育委員行事予定について報告した。

(特に意見なし)

以上